

## 2025年度 事業報告

1976年（昭和51年）に設立された沖腎協は、いつもで、どこでも、だれでも、安心して透析が受けられる社会であり続けるために、腎臓病患者の生活と医療・福祉の向上を目指し、会員と共に様々な活動を行っています。会員相互の絆を深め、社会貢献に尽力していくため、役員をはじめ事務局一同精一杯取り組んでまいりました。

2025年度の沖腎協は、常勤の事務局員が不在の状況が続き、会員の皆さまにはご不便やご迷惑をおかけする場面も多くありました。事業運営が十分に行えず、交流会・学習会・講習会など、例年実施してきた活動を開催できなかったことは大きな課題として受け止めております。

そのような中でも、理事一同はそれぞれの仕事や家庭の合間を縫い、今後の沖腎協の在り方について何度も話し合いを重ねました。理事会に記録されていない夜間の事務局作業も多く、限られた体制の中でできることを模索しながら運営を続けてまいりました。

現在、会員数の減少や財政面の不安も抱えていますが、沖腎協が法人として自立し、持続可能な組織となることを目指しています。その際には、改めて会員の皆さまのお力添えを賜りたく存じます。

派遣事業では、全国の腎臓病患者である会員の声を聞き、当協議会として何ができるのかを考える貴重な機会となりました。また、臓器移植普及推進活動をはじめとする沖縄県との共催事業も継続し、県民が腎臓病や移植について考える場づくりに努めました。

さらに、行政・医療機関・関係団体との協力活動では、積極的に情報収集を行いながら社会貢献に取り組みました。

厳しい状況下ではありましたが、理事一同が力を合わせ、そして会員の皆さまのお力添えもいただき、できる限りの活動を継続してまいりました。今後も、腎臓病患者と家族の相互扶助団体として、より良い社会の実現に向けて歩みを進めてまいります。

以下に、2025年度の主な活動を報告いたします。

## 1. 会 議

### (1) 理事会

- ① 日 時： 2025 年 4 月 13 日  
場 所： 第 1 回理事会  
議 題： 2025 年度事業計画（案） 2025 年度予算（案） 役員改選（案）  
定款改正（案） 2024 年度事業報告 2024 年度決算報告
  
- ② 日 時： 2025 年 5 月 18 日  
場 所： 第 2 回理事会  
議 題： 腎臓病患者の集いにおける役割分担について
  
- ③ 日 時： 2025 年 6 月 12 日  
場 所： 第 3 回理事会  
議 題： 腎臓病患者の集い役割分担の最終確認
  
- ④ 日 時： 2025 年 6 月 26 日  
場 所： 第 4 回理事会  
議 題： 1) 「第 48 回腎臓病患者の集い」の振り返り  
2) 2025 年度沖腎協各委員会の今後の事業予定確認
  
- ⑤ 日 時： 2025 年 7 月 13 日  
場 所： 第 5 回理事会  
議 題： 1) 8 月以降の事務局体制  
2) 沖腎協 50 周年記念事業
  
- ⑥ 日 時： 2025 年 7 月 27 日  
場 所： 第 6 回理事会  
議 題： 沖腎協 50 周年記念事業
  
- ⑦ 日 時： 2026 年 3 月 29 日  
場 所： 第 7 回理事会  
議 題： 1) 2026 年度 事業計画（実施する事業／据え置く事業）  
2) 2026 年度「腎臓病患者の集い」（日程・時間・場所・内容）  
3) 沖腎協 50 周年記念式典の進捗報告

(2) 第48回腎臓病患者の集い

日 時： 2025年6月22日

場 所： 沖縄市農民研修センター 大ホール

議 案： ①2024年度事業報告 ②2024年度決算報告 ③2024年度会計監査報告  
④2025年度事業計画(案) ⑤2025年度予算(案)

定款第19条1項の規定により、定足数を満たし総会は有効に成立した。  
審議の結果、承認多数により、すべての議案は可決された。

(3) 委員会活動

組織・広報委員会

① 広報誌 ODA 発行 (2回)

② 委員会業務分掌の運営

- ・ 常設：総務企画委員会、移植推進・レク委員会、組織・広報委員会
- ・ 特設：組織拡大委員会

## 2. 派遣事業

(1) 全腎協 定時社員総会

日 時： 2025年6月21日、22日

場 所： 東京都品川区

派遣者： 沖腎協腎臓病患者の集いと重なり欠席

(2) 全腎協 九州ブロック会長会議 (web開催)

日 時： 2025年8月17日

場 所： 沖腎協事務局

派遣者： 野嵩 正恒 (会長)

(3) 全腎協 青年研修会 (web開催)

日 時： 2028年8月24日

場 所： 沖腎協事務局

派遣者： 林光夫 (理事)

(4) 全腎協 全腎協シンポジウム

日 時： 2025年11月22日、23日

場 所： 東京都品川区

派遣者： 事務局員募集に係る面接調整業務のため欠席

- (5) 全腎協 九州ブロック青年交流集会 in 福岡 (Web 開催)  
日 時： 2026 年 1 月 25 日  
派遣者： 参加者募集を行ったが応募者なく、欠席
- (6) 全腎協 九州ブロック全体会議 in 長崎  
日 時： 2026 年 2 月 7 日、8 日  
場 所： 長崎県諫早市  
派遣者： 野嵩 正恒 (会長)、林 光夫 (理事)
- (7) 第 55 次国会請願要請活動 (紹介議員 衆議院議員 島尻 安伊子 氏)  
日 時： 2025 年 3 月 19 日  
場 所： 東京都千代田区 (議員会館)  
派遣者： 仲宗根 直也 (全腎協理事)、林 光夫 (理事)  
署名数：1,561 筆 (全腎協確認後 1,438 筆)  
募金金額：103,893 円 ※資料参照

### 3. 臓器移植普及推進活動・共催事業

- (1) 臓器移植普及推進・街頭キャンペーンに参加  
日 時： 2025 年 10 月 4 日  
場 所： パレット久茂地前広場  
参加者： 野嵩正恒・瑞慶覧朝信・志堅原博史・仲宗根直也・仲里則男
- (2) 沖縄県臓器移植推進協議会広報委員会
- (3) 臓器移植を知るシンポジウム  
日 時： 2025 年 10 月 25 日  
場 所： 沖縄県立図書館 3 階ホール

### 4. 「会報・沖腎協」の発行

- (1) 会報沖腎協 第 64・65 号発行 (2 回)

### 5. 行政や医療機関、関係団体との協力活動

- (1) 命の大切さ講話 (沖縄県保健医療福祉事業団)  
日 時： 2025 年 4 月 30 日  
場 所： 豊見城市立長嶺中学校  
出席者： 野嵩 正恒 (会長)

(2) 沖縄県透析災害対策連絡協議会

日 時： 2025年8月21日  
場 所： 沖縄県医師会  
出席者： 野嵩 正恒（会長）

(3) 浦添市長役所表敬訪問

日 時： 2025年9月9日  
場 所： 浦添市役所  
出席者： 野嵩 正恒（会長）・仲里則男（監事）

(4) 災害対策に関するミーティング 豊崎メディカルクリニック 院長 下地國浩 氏

日 時： 2025年9月21日  
場 所： 沖腎協事務局  
出席者： 瑞慶覧朝信・平良貴弘・徳永利弘・志堅原博史

(5) うるま市誕生二十周年記念式典

日 時： 2025年10月4日  
場 所： うるま市民芸術劇場  
発表者： 野嵩 正恒（会長）

(6) 透析患者の就労状況について 対談

一般社団法人しなさぎりハビリサポート協会 代表理事 南部路治 氏

日 時： 2025年10月28日、11月13日  
場 所： 沖腎協事務局  
参加者： 野嵩 正恒（会長）・仲宗根直也（理事）

(7) 沖縄県慢性腎臓病対策協議会

日 時： 2025年11月10日  
場 所： 沖縄県庁  
参加者： 野嵩 正恒（会長）

(8) 体験講話：透析の体験から減塩対策の重要性について

日 時： 2025年11月15日  
場 所： うるま市健康福祉センター・うるみん  
講 師： 野嵩 正恒（会長）

(9) 新聞社取材：慢性腎臓病について

日 時： 2025年11月13日（沖縄タイムス社）、18日（琉球新報社）

場 所： 沖腎協事務局

参加者： 野嵩 正恒（会長）・仲宗根直也（理事）

(10) 透析治療のできるクリニック併設・介護付き有料老人ホーム

はえばるクリニック・みやひら日の出園 オープンに向けた対談

日 時： 2025年11月26日

場 所： 沖腎協事務局

参加者： 野嵩 正恒（会長）

(11) 那覇市CKD病診連携推進会議

日 時： 2026年3月9日

場 所： 那覇市保健所

参加者： 野嵩 正恒（会長）

(12) なは健康フェア「ソルセイブ塩味体験およびCKD相談」(with 那覇市健康増進課)

日 時： 2026年3月15日

場 所： サンエーメインプレイス 2F（映画館前広場）

参加者： 瑞慶覧 朝信（副会長）

(13) うりずんフェスタCKDブース出展（沖縄県慢性腎臓病対策協議会）

日 時： 2026年3月20日

場 所： 沖縄県医師会

参加者： 瑞慶覧朝信・徳永利弘・志堅原博史・林光夫

(14) 沖縄県人工透析研究会 招待

日 時： 2026年3月22日

場 所： 沖縄コンベンションセンター

参加者： 野嵩正恒・瑞慶覧朝信・平良貴弘・林浩二・徳永利弘

※当日は、志堅原博史（理事）・仲里則男（監事）も業務で参加した

## 6. 広報・啓発活動

ホームページやLINE公式アカウント（沖腎協コミュニティ）による広報・啓発活動、会員等とのコミュニケーションを実施継続した。

以上